

ご存知ですか「予防救急」

予防救急とは、救急車を呼ばなくてはならないようなケガや病気をしないよう、心がける意識や行動を言います。

令和4年の救急出場のうち、病気や交通事故等を除いた一般的なケガ(一般負傷)に着目すると、高齢者(65歳以上)の方が75%を占めております。高齢者のケガの原因は、転倒が多く、大ケガにつながるリスクがある一方、整理整頓をするなど少しの注意で防げるものがあります。

予防救急の実践は、ご自身や大切なご家族が安全で健やかな生活を送っていただくとともに、救急要請件数の低減につながり、救急車が迅速に現場に駆けつけるためにも重要です。

発生頻度の高い事事例と予防策がまとめられたリーフレット(総務省消防庁作成)をぜひご参照ください。

[救急事故防止に係るリーフレット\(高齢者版\)](#)
[救急事故防止に係るリーフレット\(乳幼児版\)](#)



令和4年一般負傷に占める年齢区分構成比
(塩釜地区消防本部管内)

